



地獄も心、極楽も心である。心次第で地獄極楽が右と左に岐れます。(ご聖訓第八巻 37頁)

令和3年 本部布教推進会議

次年度本部布教活動方針と今後の取り組みテーマに

本部布教推進会議が6月26日に開催された。1月と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため一日に集約し、本部道場をメイン会場として圏域毎に全国7カ所をつなぐオンライン開催となった。



下半期への指針を述べる岡野理事長

午前10時半に開会。まず岡野英夫理事長が「今まで当たり前と思われた行動や社会のしくみを改め、真の豊かさや価値観、概念を見直すことを示唆しています。これらコロナウイルスからのメッセージを哲学的に考察し、豊かな未来創造への学びにしていかなければなりません。メッセージから得た貴重な気づきを実行に移したときだけ、そ

のメッセージに真の価値が生まれ、靈性の浄化と魂の覚醒をもたらしてくれるのです」と述べられ、世界人類怨親平等供養の徹底、朝夕の勤行を真剣に行うこと、規則正しい生活を送り免疫力を高め、心身の不調や生活の乱れが生じて罹患した場合には、御神宝などを有効活用させていただくことなどを実践の要点として挙げられた。



関西道場から圏域会議の報告をする柴田正道場長



闊達な意見が交わされた圏域会議（中部道場）

続いて、宮坂保徳教務局長より「令和4年度本部布教活動方針」の説明後、それを受けて各会場では『布教活動方針』『女性の活動プラン』などについて圏域毎に具体的な実践に向けて話し合われた。本部からの伝達事項の後、圏域会議報告として、圏域を代表して東京圏域と関西圏域から報告が行われ、終礼行事をもって終了となった。

津之守弁財天・夏祭

日頃の感謝を捧げる



恵みの雨の中、7月1日の報恩日行事に先立ち、正午より津之守弁財天夏祭が執り行われた。岡野英夫理事長はじめ稲子知義崇敬会会長、本部役員、有志、荒木町関係者らが参列した。式典では、岡野理事長が祝詞を奏上した後、玉串奉奠、拝礼行事が行われ、参加者一同日頃のご守護に対する感謝を捧げた。その後、金丸稻荷を参拝した。

7月度報恩日・解脱金剛奉賛会設立50年記念プログラム

奉賛会50年の歩みを振り返る

昭和46年に設立された解脱金剛奉賛会が50年の節目を迎えた7月1日、特別プログラムによる記念報恩日が全国の各直轄道場にて開催された。

本部道場では、拝礼行事、み声拝聴、みさとし拝読、体験発表に続き、服部宇之輔奉賛会幹事長の奉祝の挨拶や50年にわたる奉賛会の歩みをまとめた映像が放映された。その後、記念講話では岡野英夫理事長が「50年にわたり、金剛さまへの報恩行として、解脱会の主行事、土台を支えてこられました。今後も多くの皆様方の善念を集めて、金剛さまの大理想実現に向けて成し遂げることが



大切です。その事業によって皆様の徳が増えていくのです」と奉賛の意義について述べられた。

最後に、終礼行事、会員各家の先祖供養、世界人類怨親平等供養をもって終了となった。

第52回 神変大菩薩碑建立記念祭

雨の中、御神徳に感謝



神変碑に対し祝詞を奏上される岡野理事長

6月19日、山梨県富士吉田市の北口本宮富士浅間神社境内の神変碑前にて、第52回神変大菩薩碑建立記念祭が解脱会本部主催、甲信教区主管で厳粛に執り行われた。

霊峰富士は、古来より修験道の聖地であり、修験道の開祖として尊敬される役行者が修行を積まれたと言われて

いる。没後、光格天皇より神変大菩薩の諡号を賜られた。役行者について、金剛さまは「富士山を開かれたのは役行者だ。その大恩人に感謝できないものは、富士の裾野で成功することはできないよ」と、先覚者である山梨富士支部長・山本仁三郎氏にご指導された。金剛さまの御心に従った山本氏は、役行



富士浅間神社の境内に、真心の般若心経が響いた

者の素晴らしい妙法が全ての人に及んで、その人たちが幸せに導かれるように、との願いを込め神変大菩薩の御尊影を石に刻んで建立した。

当日は、お恵みの雨を頂く中で準備が進められ、式典が始まる頃には雨が止み、つつがなく式典が進行された。

また今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数が制限される中、岡野英夫理事長はじめ本部役員、地元甲信教区役員と会員代表のみが参列した。

午前11時より開式。修祓、献饌、岡野理事長の祝詞奏上の後、岡野理事長をはじめ5名が代表して玉串を奉奠した後、全参加者で真心からの般若心経が捧げられた。直会は、感染防止のため中止となった。

第163回 健康学園コース

家庭、支部の活力を高める

第163回健康学園コースが7月10日、11日と同内容で関西道場にて開催され、コロナ感染対策のため、夫婦、親子または支部の仲間による2人1組で参加する形で行われ、両日で計9組18名(10日:6名、11日:12名)が参加した。

開講前、解脱3分間体操で心身をほぐした後、柴田正美道場長の激励挨拶(11日のみ)、リモートによる三浦純教育部長の開講挨拶に続き、津村和範教育部主任が「解脱有食法」をテーマに数多くの会員の体験談を交えて「天茶のすばらしさ」

について講話。続く「沖ヨガ」を取り入れた呼吸法の実習では、身体を動かし可動域を拓げて深い呼吸をすることの大切さを、西脇武利教育部次長から学んだ。昼食後は、三浦教育部長がリモートで、「健康指導を活用し家庭、支部の活力を高める」と題した講話があった。続いて、堀川剛史教育部次長による「足心道」と津村教育部主任による「体位矯正法」に分かれて実習が行われ、参加者はそれぞれ家庭でできる健康指導のノウハウを学んだ。



最後に、10日は三浦教育部長、11日は有田英三健康指導委員が、健康指導を生活の中で生かす大切さを述べ、終礼行事、天茶供養をもって終了。参加者たちは十分な手応えを感じて満足した表情でそれぞれ帰路についた。

女性講座・かたばみ会

家族に伝える大切さ

首都圏女性部が開催している「女性講座かたばみ会」が6月25日午後1時30分より、オンライン配信された。

これは全国の女性会員が「いつでも・どこでも」学べるようにと、本会ホームページの会員サイトを通じてライブ配信

を行う企画。

岩田豊美常任理事を講師に迎えて行われている今年のテーマは「み教えを生活に活かす!」で、全5回のうちの3回目となる今回は「生活を通して家族にみ教えを伝える大切さ」について3つの実例を紹介しながら、家族を導く大切さを学んだ。

今年は、9月26日(日)と11月24日(水)に開催される。また今までの第



1回~3回の講演も本会ホームページの会員サイトから視聴できる。

ハワイ教会で「天八大龍王神祭」

水辺で萬靈へのご供養も



ハワイ解脱教会は6月13日、ハワイ守護神・天八大龍王神の祭典を水辺に面する教会の庭で開催し、水の恵みや日々の御加護に感謝した。

「布哇（ハワイ）八島は天八大龍王神が守護されている」と金剛さまのお言葉として伝えられ、当教会のご社殿には天八大龍王神の祭神札が太神さまの隣にお祀りされている。このことから本年より、龍神祭をハワイ教会の年中行事とした。

式典は庭に設けた祭壇前で行なわれ、山田一雄開教師が表白文を奏上、一同で

感謝報恩の祈りをささげ、ハワイ八島及び太平洋海域有縁無縁萬靈、ハワイ先住民の靈、全住民の先祖靈、鳥獸虫魚樹木草一切の靈、ハワイ土地関係敵味方無縁之靈、法界無縁萬靈に対し、天茶の撒き供養を捧げた。

山田開教師は挨拶に立ち、英語にて次のように祭典を寿いだ。

「龍神は天地を自在に動く神靈。龍神が動くところ“流れ”が起こる。雲を動かし、風を吹かせ、雨を降らせてくださいます。龍神は地球を潤し浄化するお役割を担わ

れて、私たちも恩恵を被っているのですが、さらにその自然の力を敬う者には、支援もくださると言われています。そのご利益は、物事がよりスムーズかつ迅速に運び、より良い結果を得させていただくと言っています。本日参加された皆さまは、自他の幸福のため力を発揮するとき、今後、龍神さまのさらなるお導きや後押しをいただけることでしょう」

続いて、緑豊かな水辺の庭で直会のランチパーティを楽しんだ。

■ハワイ教会創立40周年祝賀について

ハワイ教会では、9月12日に創立40周年の祝典が行われる。日本での本部からのツアー団募集は、出入国の検疫態勢が厳格だったため見送られたが、ハワイ会員一同は「もし検疫体制が緩和され、間に合うようなら、日本の会員さんにはぜひ個人旅行でもハワイ教会の祝典に参加いただきたい」と、日本からの参加を希望している。

式典に関するお問い合わせは、直接、ハワイ教会へ。メールアドレスは：contact@gedatsuhawaii.com

東京第4教区・こども会

コロナ禍で一つに

東京第4教区では6月20日（日）、教区こども会主催の「4Kフェス」がリモート開催され、コロナ禍中でも教区の親睦を目的に「今こそみんな一つに ALL 4

ONE」とサブタイトルが付けられた当行事には51名がオンラインにて参加した。

拝礼行事、宮崎達郎教区長の開会挨拶の後、全員で楽しむレクリエーションやグループ対抗戦、会員同士の親睦を深める、共通点探しゲームや迷路を進めながら問題にチャ



レンジする脱出ゲームなどで盛り上がり、参加者が心一つにした。

解脱金剛奉賛会 設立50年企画 奉賛会体験



奉賛会と私

神戸灘支部 阪田 嘉彦

私は解脱会に入会して、今年で62年になります。当時の中岡理三神戸灘支部長の長男と同じ学校の柔道部に所属したのをきっかけに、解脱のみ教えに御縁を頂きました。

そして関西道場の青年講座に参加した帰り、当時の恒例行事だった神戸地区青年部の仲間と京都の各所を散策する中で会員の娘さんと出会い、結婚しました。そんな形でみ教えと出会った解脱一世です。

私の家族は両親と姉の4人でしたが、姉とは18歳も離れ、しかも姉は結婚に破れ子供も無く、結核を患い長い療養の末、40歳代の若さで亡くなる笑いの無い暗い家庭

でした。一方、妻には9人も兄弟がおりましたが、4人が幼くして亡くなり、妻は悲しい思いをしながら育ちました。

そのような中での解脱会との出会いは、全く違う世界があると感じたものでした。

青年部活動は楽しくて、お誘いの呼びかけに毎晩のように青年部の仲間とオートバイで会員のお宅へ回りましたが、今思うと、寂しい家庭からの逃げ場になっていたように思います。そんな中、家業が不振となり廃業、私は異業種の会社に勤め、その頃から解脱を真剣に学び始めたように思います。

私は朝早くから夜遅くまで務め、普段は支部に通えなかったのが、感謝日だけは仕事を早めに切り上げて夜の部に参加していました。

そんな私を助けるように妻は3人の子育てと、合間を見ては支部道場の清掃や行事への参加と、子供好きな妻はそんな息つく間もない時期でも楽しそうに子供の世話や家事全般をやってくれていました。

ある時、支部長から「良いものをあげるよ」と手渡されたのが、奉賛会の申込書と支部少年団の責任者のお役目でした。私は「え〜〜〜っ！無理！」と、心の中で叫びましたが、支部長は無言を言わずニコリ笑いながら自室に戻られました。

爾来40年、今では19人の三世代の家族が常に出入りし、笑いが途絶えない家が出来上がっていました。本当にもったいなく、60年前の私には考えられません。支部長の前で言葉を飲み込んだのは大正解でした。その後も色々とお役目にお使いいただき、奉賛会も続けられている事に喜びを感じております。

第179回秋季大祭について

新型コロナウイルス感染防止のため、御霊地における参加人数を各日上限1,300人(2日間合計2,600人)に制限させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

行事日程

10月 8日(金) 9:30 奉告祭

10:45 萬部御法楽

10月 9日(土) 12:00 大祭式典(ライブ配信有)

10月 10日(日) 12:00 大祭本祭式典(ライブ配信有)

○今年の春季大祭同様、12:00開式となります。

○式典終了予定13:30(両日共)

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御霊地施設の宿泊受付をお断りさせていただきます。ご不便をお掛けいたしますがご協力の程よろしくをお願いいたします。



参加教区

- 9日 北海道道東、北海道道南、東北第一、東北第二、埼玉、甲信、茨城、千葉、東京第一、東京第二、東京第三、愛知、名古屋第一、名古屋第二、中国第一、中国第二、四国東、四国西、九州、沖縄
- 10日 新潟、群馬、東京第四、東京第五、東京第六、東京第七、神奈川、静岡、北陸、滋賀、京都、大阪、和歌山、神戸、兵庫

秋季大祭に向けた萬部供養の申込みについて

萬部供養は、金剛さまの御法力と「神宝」と呼ばれる御五法、そして陀羅尼經の功德により、^{たらに}靈魂が安靈するだけでなく、生き活きとはたらいいただける大変尊く有り難い供養です。

新型コロナウイルス感染症、東日本大震災関係および殺処分家畜に関する靈名について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と本年が東日本大震災後10年に当たること、併せて鳥インフルエンザ、豚熱(豚コレラ)および口蹄疫等で大量に殺処分された家畜の靈魂があることから、今回の萬部供養の申込みは下記の靈名が加わります。「法界無縁萬靈」以外の靈名は、「個人及びその他の靈」の欄に略号の記入をお願いいたします。

- 「法界無縁萬靈」 ●「世界人類生靈無縁之靈」(略号:世界生靈) ●「世界人類敵味方無縁之靈」(略号:世界敵無)
- 「新型コロナウイルス感染症犠牲者之靈」(略号:コロナ犠牲者)
- 「新型コロナウイルス感染症罹患者各家祖先代々之靈」(略号:コロナ患者)
- 「新型コロナウイルス感染症医療従事者各家祖先代々之靈」(略号:コロナ医療)
- 「東日本大震災横死者之靈」(略号:東日本) ●「鳥インフルエンザ殺処分家畜之靈」(略号:鳥インフル)
- 「豚熱殺処分家畜之靈」(略号:豚コレラ) ●「口蹄疫殺処分家畜之靈」(略号:口蹄疫)

感謝と孝養の真心で

靈界入りされた父母や祖父母に対しては天茶供養を充分にして、感謝と孝養の心を込めて申し込むことが基本です。

また土地関係や職業関係で申し込む時は、日々そのお蔭により生活させていただけていることの御礼と報恩の気持ちを忘れないようにしましょう。

「修身安楽」は、「自分の行いを正しく律し、立派な人になる」との意味があり、自分はもちろん、家族や親戚を申し込むとよいでしょう。金剛さまは萬部供養の第1号にご自身をなされ、2号から21号まで修身安楽に御一族をされています。

「終身安楽」は、「一生の間、幸福に生活できますように」との意味があり、特別にお世話になった方々に対して感謝の祈りを込めて申し込みます。

申し込む時の心構えが大切

萬部供養の執行により、萬部供養の本証は御霊地に永久保存され、「靈祭執行之証」が申し込まれた会員に渡されます。

金剛さまがご在世当時に渡された執行之証には、次のような内容の文章が同封されていました。

「今回、靈祭されたご意志をお忘れなく家族や親戚に伝えられ、この執行之証は家宝として保存してください」

萬部供養は、申し込む時の「意志」が大切ですので、申請時には、どの靈魂を申し込むかを支部長や家族とよく話し合い、支部御神前でご挨拶を申し上げてから申し込ませていただきます。お問い合わせ先:調札部 TEL:03-3353-3555

Mail:chousatsubu@gedatsu.or.jp

秋季大祭の申込メ切は9月15日

(各支部のメ切日は異なりますのでご注意ください)